

森林環境譲与税に関する市町村の令和6年度の決算状況

事業名	事業総額（千円）			事業内容	税導入の効果
	(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）		
森林環境整備委託	2,145	2,145			【ワンフリーズ】 税活用により ○植栽したにも関わらず獣害や災害等で更新できていない森林を対象として、森林の公益的機能の回復を目的とし、下刈を行った。 ○子どものころから木に親んでもらえるように健診時等に木製品の玩具を配布することができた。 ○福岡・大川家具工業会など一般企業の皆さんと早生樹センダンの植栽を行った。 ○地域材を活用した、内装の木質化や木製備品の導入を行い暖かみがあり親しみを感じる学校となった。
森林環境整備委託	6,600	6,600			
早生樹の普及促進事業	673	673			○令和3年、4年、5年度町有林植栽箇所下刈り 0.65ha ○令和6年度に開催された福岡県植樹祭に伴うボランティア植樹のための地拵え 0.49ha
木材利用促進事業木製記念品作成業務委託料	410	410			新生児・3歳児検診、町内保育園幼稚園の卒園生に対し木製記念品を贈答
早生樹の普及促進事業	48	48			植樹事業に伴う消耗品費
添田町立小中学校内装木質化等事業	107,219	107,219			添田町立小中学校建設に伴う内装木質化等のために令和元年度から積立していた基金（65,225千円）と併せて事業費に充てた。 65,225千円（基金）+41,994千円（今年の譲与税分） ○用途内訳 ・添田町立小中学校の内装木質化 86,020千円 ・木質コーディネーター業務委託 3,299千円 ・机・椅子の購入費 17,900千円

【詳細】
○添田町は、鳥獣による食害や角研ぎによって樹木の被害が顕著であることから、本税を活用し、自己負担によって植栽したにも関わらず食害によって更新がされていない森林を対象とし、森林の保全を目的とした事業を行っている。
○早生樹センダンは、成長が早く、スギ・ヒノキに比べ二酸化炭素の吸収量も3倍といわれている。またセンダンは家具材として注目されており、家具の産地として有名な大川市の企業と連携することでセンダンの産地として販路の拡大も期待できる。今年度は福岡県植樹祭の開催地としてボランティア植樹としてセンダンを植栽した。
○添田町では、町立学校の建設がされており、地域材を活用した内装木質化や備品などにこれまで積立た基金を活用した。内装には町有林で伐採した木材を使用しており、伐採跡地は町内の小学校が植栽し、子どもたちの木育とつながっている。